令和8年10月29日（木）　令和8年度　第7号
さいたま市立泰平中学校

学校だより

さいたま市北区本郷町1991　電話：０４８（６５１）４１３４

【教育目標】
豊かな心を持ち実践力のある生徒の育成
【目指す学校像】
季節の花と明るい挨拶にあふれ、
生徒一人一人に夢と生きる力を培う学校
― 大好きTAIHEI ―

「成長を支える三者面談」

校　長　宮内　和典

秋も深まり、木々も少しずつ色づき始めました。朝晩の冷え込みに季節の移ろいを感じる今日この頃です。保護者の皆様、地域の皆様には、日頃より本校の教育活動に温かい御理解と御支援をいただいておりますことに、心より感謝申し上げます。

さて、本校では１０月２８日（水）より全校三者面談を実施しております。保護者の皆様には、お忙しい中にもかかわらず御協力をいただき、ありがとうございます。

三者面談は、成績や進路について確認するだけの場ではありません。お子様が今どのようなことを考え、どのようなことに悩み、どのような成長を遂げているのかを、家庭と学校が共有する大切な機会であると考えています。そして何より、生徒自身が自分を見つめ直し、「これからどんな自分になりたいのか」を考える貴重な機会でもあります。これまでの経験を振り返ると、面談の中では、自信をもって今後の目標を語る生徒もいれば、少し照れながら不安な気持ちを打ち明ける生徒もいました。しかし、そのどの姿にも確かな成長の跡が感じられ、子どもたちが秘めている大きな可能性を実感したことを思い出します。

そんな時、私は相田みつをさんの

「花を支える枝、枝を支える幹、幹を支える根」

という言葉を思い出します。

子どもたちは、これから大きく花開こうとしている一輪一輪の花です。そして、その花を支える枝や幹、根のような役割を担っているのが、保護者の皆様であり、学校であり、地域の皆様です。花は、すぐに大きく咲くものではありません。時には成長が止まったように見えたり、思うような結果が出なかったりすることもあります。しかし、目には見えなくても、根はしっかりと土の中で伸び続けています。同じように、子どもたちも日々の経験を通して少しずつ力を蓄え、自分なりの成長を重ねています。面談が終わった後は、ぜひ御家庭でも、結果や課題だけでなく、お子様の頑張りや成長に目を向けていただければと思います。

「頑張っているね。」　「前より成長したね。」　「応援しているよ。」

そのような何気ない一言が、子どもたちの心を温かく支え、自信につながります。また、お子様の話にゆっくりと耳を傾けていただく時間も大切です。自分の思いを受け止めてもらえたという安心感は、次の一歩を踏み出す大きな力になります。

特に３年生は、自らの進路を選択する大切な時期を迎えています。不安も大きい時期ですが、「あなたなら大丈夫」と信じてくれる存在がいることが、何よりの支えになります。また、１・２年生にとっても、今回の面談が将来について考えたり、自分の目標を見つめ直したりするよいきっかけになればと願っています。

これから季節は冬へと向かいます。家庭と学校が手を取り合い、子どもたちの「根」を育てながら、それぞれの花が自分らしく咲く春を迎えられるよう支えていきたいと思います。